



平成29年 9月25日(月)

国土交通省 関東地方整備局

長野国道事務所

記者発表資料

国道20号塩嶺大橋が開通します
平成29年10月14日(土)16時00分開通

～開通日時をお知らせします～

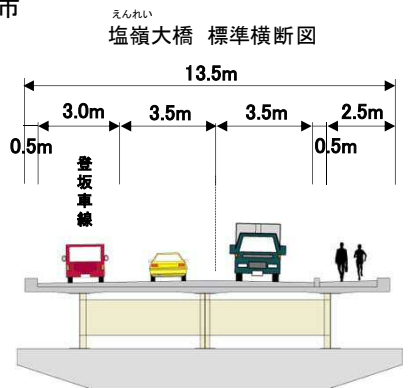
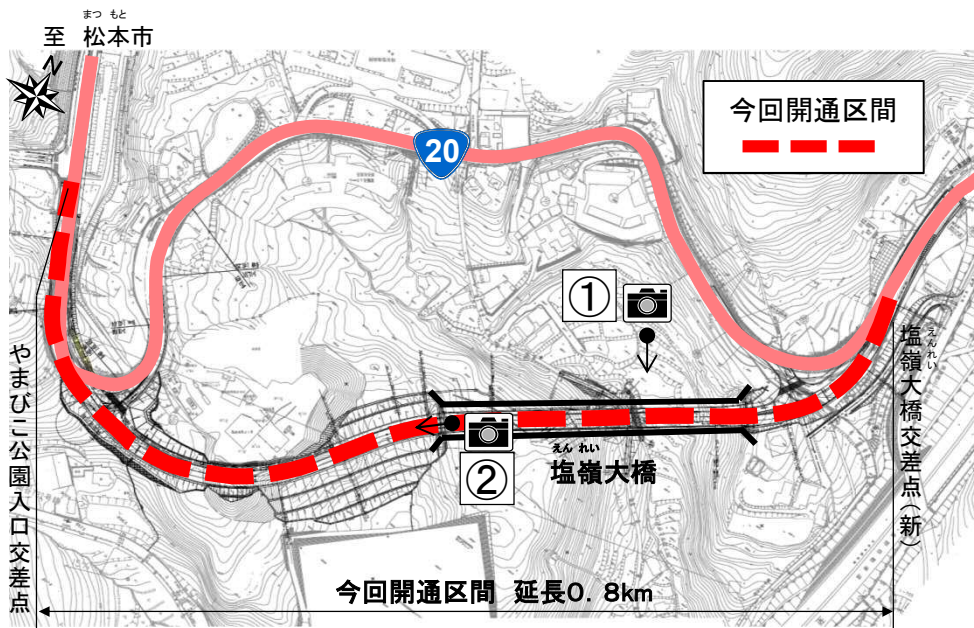
このたび、国道20号塩嶺大橋を含む線形改良区間(国道20号下諏訪岡谷バイパスの一部区間として事業中)の開通日時が決まりましたのでお知らせします。

- 開通日 : 平成29年10月14日(土)
- 開通時刻 : 16時00分
- 開通区間 : 岡谷市今井地先(塩嶺大橋交差点(新)～やまびこ公園入口交差点)
- 延長 : 0.8km
- 整備効果
 - ・国道20号塩尻峠における円滑な交通の確保が期待されます
 - ・特に冬期の立ち往生車両による交通阻害の抑制が期待されます

※同日に開通式典を実施する予定です。(詳細は後日、事務所HPにてお知らせします)

発表記者クラブ		
竹芝記者クラブ 長野県庁会見場	神奈川建設記者会 長野市政記者クラブ	長野市政記者会
問い合わせ先		
国土交通省関東地方整備局長野国道事務所 電話026-264-7001(代)		
地域広報官(副所長) 調査課長	森 浩樹(もり ひろき) 小野寺 純一(おの でら じゅんいち)	

開通箇所 位置図



進捗状況写真①

※H29.9.4時点



進捗状況写真②

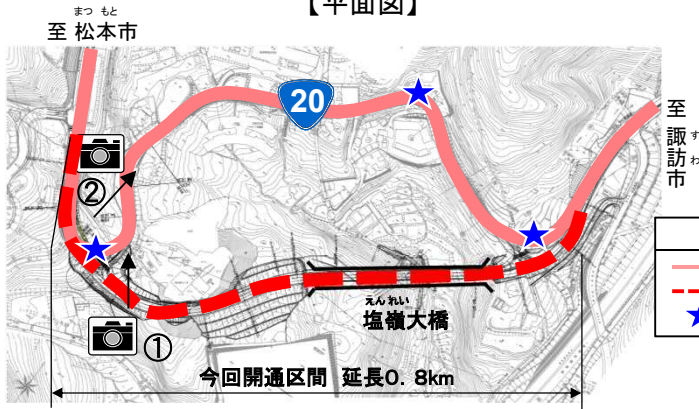
※H29.9.4時点



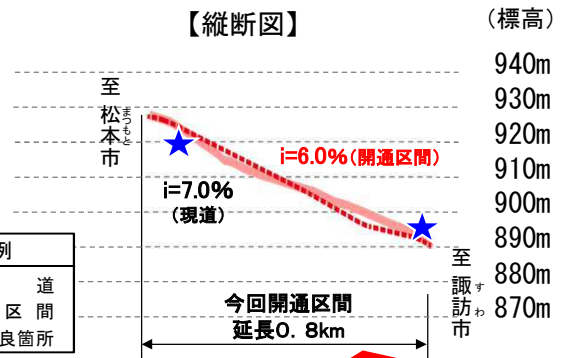
円滑な交通の確保

今回開通区間の現道は、線形不良かつ急勾配の区間であるため、特に冬期においては大型車の登坂不能車が発生するなどの課題がありました。塩嶺大橋の整備により、円滑な交通の確保が期待されます。

【平面図】



【縦断図】



線形不良かつ急勾配の箇所があるため冬期は大型車の登坂不能車が発生



写真① 線形不良区間の状況

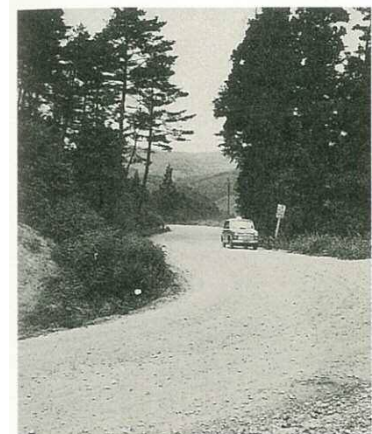


写真② 線形不良区間での冬期の降雪状況

国道20号 塩尻峠の改良の歴史

塩尻峠の区間は、昭和33年度から現道舗装を主体とした改良が行われていましたが、その後の急激な交通量の増加等を背景に、昭和45年から登坂車線の設置や線形改良事業に着手。今回の塩嶺大橋の完成により、およそ半世紀を経て塩尻峠の改良が全線完了します。

M22	S33~	S45~	S60	~S63	~H16	H29
・現道が開通	・現道の舗装化に着手	・登坂車線設置・線形改良の事業着手(8.5km)	・岡谷インターチェンジ区間の改良が完了(1.1km)	・塩尻市区間全線の改良が完了(4.6km)	・塩嶺大橋を除く岡谷市区間が完成(2.0km)	・塩尻峠の改良が全線完了 ・塩嶺大橋区間が完成(0.8km)



20号 塩尻峠付近 (昭和35年頃) 3/4

(参考) 国道20号 下諏訪岡谷バイパスの概要

国道20号下諏訪岡谷バイパスは、諏訪郡下諏訪町及び岡谷市街地の交通混雑の緩和、交通安全の確保を目的とした、延長5.4kmのバイパス事業です。

